

---

# ふじぱんが独断と偏見で語る携帯小説の書き方

ふじぱん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ふじばんが独断と偏見で語る携帯小説の書き方

### 【Nコード】

N4599D

### 【作者名】

ふじばん

### 【あらすじ】

知り合いが自分もネット小説書くとか言っていたので、参考程度に私の持つ浅はかな要点を紹介。きつと独断と偏見過ぎるからフルボッコ確定かな（笑）。世の中、こんな意見もあるんだよ……と参考までに留めておいて頂ければ幸いです。

## ただの挨拶臭い内容っぽい

ネット小説の良いところってなんだと思います？

私は表現の自由性が幅広い所だと思います。

ファンフィクションにおいては五月蠅いところはうるさいですが…。

某国のネズミを彷彿とさせる企業とか、その急先鋒ですね。

あんたらだって著作権の曖昧な童話を使って金儲けしているじゃんとか断言しちゃうと消されかねないので曖昧に濁しますが……。

それにぶっちゃげ、私は特質するほど面白いとも思いませんし……。

後、やれなんだかんだと小煩い規定のある家庭用ゲーム機とは違い、恐ろしくやばい表現も自由です。

ちなみに何気に絶対ヤバイ家庭用ゲーム機の表記。

看護婦……。 (男女差別になるからダメ)

盗んだバイクで走り出す。 (犯罪助長行為に該当)

フルボッコ確定です。

いいじゃん、そんなくらいとも思えますが青少年に悪い影響を与えるとかいう理由で禁止されております。

その波紋はアニメとかにまで及んでおり、我々創作大好き人間にとって見事に世知辛い世の中です。

後、読む為に通信料以外お金がかからないこと……。

元々私は創作で飯を食べるつもりもありません。

趣味を仕事にしたら、人間哀しいかな……、趣味が減るんです。

苦痛な趣味程、マゾじゃないんですから喜べませんよね。

私自信、趣味を仕事にしてしまい、プライベートでは全くなくなる始末……。

だから、最後の趣味である創作だけは趣味で留めておきたいというのが、現状ですね。

そもそも食べていけるだけの技量を持ち合わせちゃおりませんが……。

この小説家になろうのサイトを使っているのは、メール送信機能や評価機能が他のサイト様に比べると優秀だし、なによりアクセス解析が着いている事ですしね。

何より汚い話……、

金が絡んでないだけ素直に読む事ができるということでしょうか……。

タダほど素敵なものはありませんね。

しかも、金を払ってまで買った本がハズレだったとか救われません。

私は評価サイトで普通にグツダグダ文句書きまくりです。

金返せ！

と……。

そんな私が携帯小説を書き始めて、このサイトで評価機能を使い出して早、たったの数ヶ月。

持てる力を持って、知った被りの知識をご披露させていただきます。

実はただの前書きでした。ちゃんちゃん

ただの挨拶臭い内容っばい（後書き）

ジャンル……これエッセイでいいのかな？

はい……。

何気に拝見させて頂きますと、

皆さん……。

何気に改行を軽視している様に見受けられます。

携帯小説の読者層って、結構若手の方々なんですよね。

まあ、言うより実際見た方が早いですね。

例を上げましょう。

同部屋の住人である愚弟は暗闇の中携帯を弄っていた。煙草に火を付け訝しげな面持ちでディスプレイを見る。恐らく携帯で出来るネットゲームでもしているんだろう。則ち何か不快な事があったようだ。終始ムスツとしたように見受けられる。時折「くそっ」と呟いてはカタカタカタカタと携帯を操作している。

軽く書いて見ました。

読みにくくないですか？

私だと、うゝんっ……、と首を捻ります。

あんまりにも文章が固まり過ぎて何書いているのか、私は一読では半分からいしか理解できません。

改行を入れて見ましょう。

同部屋の住人である愚弟は暗闇の中携帯を弄っていた。  
煙草に火を付け訝しげな面持ちでディスプレイを見る。

恐らく携帯で出来るネットゲームでもしているんだろう。

則ち何か不快な事があったようだ。

終始ムスツとしたように見受けられる。

時折「くそっ」と呟いてはカタカタカタと携帯を操作している。

さっきよりまだ幾分かマシ臭いですね。

でもまだなんか読みにくい……。

気付かれましたか？

はい。

読点（、）がありません。

ついでに言つなら三点コンマ（…）があってもよさ気です。

んでは、適度に読点やら三点コンマを付してみましょう。



同部屋の住人である愚弟は暗闇の中、携帯を弄っていた……。煙草に火を付け、訝しげな面持ちでディスプレイを見る。恐らく携帯で出来るネットゲームでもしているんだろう。則ち、何か不快な事があったようだ。終始ムスツとしたように見受けられる。時折、「くそつ」と呟いては、カタカタカタカタ……、と携帯を操作している。

最初に比べたら読みやすく状況把握もしやすいのではと思います。

それにびつしりと埋まる文字数を見ると目に悪いです。

眼球が一点を集中して見ているため、当然ながら目が疲れます。

目の疲れにはブルーベリーがいいらしいですが、常に摂取できる代物とは言い難いです。

何気にカロリー高いし……。

ふふふ……。

まあ、言いたい事は……

改行は読む人の為になりますと言いたいんです。

なにより、プリンターとかで印刷しない限り、パソコンのディスプレイや携帯のディスプレイで書かれているわけですから更に目によろしくないわけで……。

さて、改行の重要性を偉そうに語ったついでにもう一つ。

漢検準2級以上の漢字はなるべく使わない……、と言った所でしようか。

参考までに漢字検定準2級は高校生が修学する程度の難易度………  
… だったと思います。

まあ、簡単に言いますと……。

其れ……それ

此処（もしくは此）………ここ

とか

ひらがなでいいじゃんとか思える表記ですね。

演出ならともかくですが、常時はちよつと……。

私ことふじばんも人の事言えませんが……。

読めない字があったら読者の興味は急速に引きます。

筆者が最も恐れる行為、戻るの操作をされる要因になります。

せっかく書いた以上、人に読んでもらいたいの私だけですか？

そんなことはないですね。

………と、言いたい事を言ったので今日はこの辺りで。

## ふじばんの戯言2 誤字の脅威

誤字……。

はい、私は正直に、語る資格はありません。

何故なら私は誤字が得意だからです（おい）。

私が主に誤字をやってしまうパターンの紹介を反省を込めて語らせて頂きます。

携帯投稿の落とし穴……。

パソコンにはなく、携帯にはある「予測変換機能」……。

便利ですよねえ……。

ただちょっと待って下さいね。

何気に便利と言う言葉に騙されがちですが……、所詮機械。

おバカちゃんです。

予測変換にての失敗例……。

1、変換しない!!

どうでもいいような簡単な漢字が予測変換でひっかからない時があります。

主に4文字熟語とかいい例ですね。

慌てず騒がず落ち着いて変換すればなんて事はない変換。

投稿後……、

「げ……」

とか言わないで言いようになりたいものです。

2、前後の変換を気付かずに入力

よくやっています。

常習犯です。

返す言葉もございません。

例えば、

「あらま……」

と感嘆している台詞を打とうとしましょうか。

平仮名表記で十分な所をつい癖で、変換していたりします。

因みに私の携帯の「あらま」の予測変換例。

荒巻

荒牧

新巻

あらまし

つついよく見ずに4番目の「あらまし」で変換してしまいます。

注意しましょうね、ふじばんさん……。

3、ド勘違い

これは予測変換に限らずパソコン投稿組の方にも当てはまりますね。

人間、勘違いするのは当たり前です。

某文学部関連教授先生様が執筆なされた偉そうな本にもちゃっかり誤植があります。

第三者が更正しなければ結局は、誤字があるものです。

こいつは例を上げたらキリがないので置いておきます。

#### 4、焦りによる誤変換

これもパソコン、携帯とにもよくあります。

同じ読みで違う意味の字なんて腐る程あります。

こればかりは、誰が悪いと言う訳ではございません。

あえて上げるなら日本語を構築したご先祖さまにお怨み申し上げましょう。

という責任転嫁は置いといて……。

何故焦りが発生するかですかね。

携帯では言っ飛ばしまえば文字入力が遅さにあります。

当然、パソコンも同様ですかね。

頭に浮かび上がった文章を表に出そうとしているのですから、当然タイムラグが発生しちゃいます。

頭では瞬時に言葉がでてきても、文章化、適切な変換などを行っていれば嫌でもタイムラグが発生するわけですね。

私の例を上げるなら先日投稿した「選択紙」は構想3分。書き上がり4時間……。

こんだけタイムラグの間隔が起これば、焦らないわけですね。

当然、これでご飯を食べている訳でもないですから書ける時間というものが存在するわけで……。

人によつては仕事、学校、家事など人生の大半を執筆に当てられる人はよほどのプロくらいです。

まあ、でも漫画なんかよりはマシなんですがね。

漫画を書いているのか知り合いが言っていたのでそのまま無許可、事後承諾で乗せますと……。

「小説はまだいいよ……。漫画なんて下手したら一コマに何時間かかるやら……。いつまでたっても書きたいシーンまで到達しないし」

だそうです。

誤字の言い訳のはずが何やらどうでもいいような方向に脱線してお



ります。

とりあえず話を元に戻します。

焦るな……は、無理な相談臭いので、確認を怠らず……、ってこと  
ですかね。

かといってもめんどくさくもあります。

私自身、面倒です。

早く投稿したい誘惑もございます。

まあ、早い話……、そこを意識付けしない限り誤字癖は治らない。

わかりましたね。ふじばんさん??

5、消去ミス

意図せず文字を削ってしまった際に発生します。

自分は消していないつもりなんですな。

前後の文の消去の際にやらかします。

書いてる本人は何気に気付き憎いと言い訳を羅列しておきます。

なんで、そんな箇所を発見した場合は、慌てず騒がず優しく指摘し

て上げるのも優しさ……かな？

と思います、程度にしておきましょう。

以上、要因と対処方をわかってる癖に誤字が治らないふじぱんの戯れ事でした。

さて、一応私自身は小説家になろうのサイトでそこそこ色々な方の評価をしております。

極力誤字は突っ込まないよう心掛けているのですが、ある場合に置いてのみツツコミいれてます。

それは純粹に最高の良作に対してです。

この誤字さえないければ……、って時にツツコミ入れます。

勿体ない作品って多いんですね、何気に。

当人も誤字の存在に気付いているのも周知ですが言わずにおれない誤字。

自分が直せないのに人に直せと言っているのは、やはり変ですね。

私も頑張って誤字出さないようにしますか。

格言

言は易し（おい）

ふじばんの戯れ事3 RとX指定(性)(前書き)

自己責任で閲覧お願いします。

ちなみに18歳以下の閲覧はダメ元でダメといっておきます。

### ふじばんの戯れ事3 RとX指定（性）

さて、今回の議題は、R指定とX指定の分別です。

まあ、正直言いますと……金銭が発生しないので正直ネット小説では細かく言うつもりもないです。

性描写でお金取ってうっはうは……というわけでもないのですが……。

厄介な集団がいます。

金銭関係なく、とりあえず自分だって好きな癖に、もしくは子供を盾に自分が嫌いなジャンルを廃除したいため……。

「子供には早い！」と否定的な「いいいい」なる、著作の敵対組織ともいうべき組織があります。

厄介な事に全国ネットな上、権力は異常に強く……、犠牲となった著作は後をたちません。

例えばパチスロで有名なあのアニメ……。

有名ですね……。

それから身を守る為に、ネット小説でもR指定、X指定の表記は必要です。

付けて、閲覧されたら読んだ人の責任。

著者は、きちんと指定つけてますから……。

フィルタをつけたプロバイダを通さなかったあなたがた親の責任です……。

と理論武装できます。

と、どうか他に対抗手段がありません。  
しょせん、理論……。

感情論には勝てません。

ならば、第三勢力に自分らの言い分を聞いてもらいましょう。

司法も頭でつかちな集団ではありません。

理論で固めてれば、勝機もございます。

倫理協会も、自分らの指定している事を守っているので、世論が傾いて困った犯罪者さんがでていない時期ならば、敵対はしないはず………とは断言は控えておきます。

脱線しまくりの前置きはひとまずおいといて……。

ノーマルとRとXの境目について明記します。

まずはR - 15……。

15歳未満はお断りに関して、要は中学生未満は見るではない。でも高校生は見る事を許そうと言っているのですが……。

どこまでがいいのか……。

意外と知られざる範囲の狭さ……。

性行為を見せ場とせず、性行為の過程（脱衣、前戯、性交、後戯）を連続として描写せずに、簡潔にする。

又、ドラマ及びドキュメントにおいて、フィクションといえども暴力犯罪、残虐性等の表現は簡潔に努め、過度に刺激のないもととする。

誤解がないように言っておきます。

要は、H行為はグロかったり、リアルには書くのではなく、そのものの表記がダメというわけです。

彼女のやわらかなお ぱいを揉む。

男性自身を見せ付けた。

挿入した。

どれがRで許されてる範囲と思いますか？

はい、全部ダメ臭いです。

ま、小説だから抜け道は腐るほどあるんですがね。

ですが、抜ける技術がない以上、ギリギリいけるだろうとかは、やめたほうが無難です。

ちょっと待って。

そういう描写を普通にR程度で出しているプロいるじゃん！

という意見。ごもつとも……。

ここから、さらに汚い話になりますが、プロは法人です。

いざとなったら、弁護士が動きます。

弁護士がつけば、傷は浅く済みます。

んじゃ、私らも弁護士動かせば……。

いえいえ……。

弁護士動かすのいくらかかると思ってますか？  
少なくとも百万は覚悟して下さい。

前の話で載せたとおり、ネット小説はビジネスではないです。

うまいことすればお金は入りますが、現状では入らないのが大多数です。

んじゃ、書けないじゃないか！

いえいえ……、結論を急がないで下さい。

濡れ場がない恋愛っていうのも寂しいものです。

まず、要点を言えば……、

局部名称、それに類似する名称を書かない。

本番はしない。

……と言つか触れない。（なんの？ とか言わないで下さいね）

ですね。

まあ、小説だから許される範囲としては胸（別にお ぱいのみじゃないし）、フトモモ、うなじ、下半身（股だけではないですからね。この単語は）とかまあ、後は上手な表現方法をとっていらつしやる作者様を参考にしてください。

入浴シーンとかは局部名称書かなきゃ、R以下でいいですし……。

………うん。

ちなみに言っておきます。



ここまで書いた許されるであろう表記は、現段階は……です。

年々厳しくなる事はあっても、緩くなることはありません。  
気をつけて下さいね。

因みに、今回載せた事に関しては自己責任で閲覧、実践して下さい。

性行為を見せ場とせず、性行為の過程（脱衣、前戯、性交、後戯）  
を連続として描写せずに、簡潔にする。

又、ドラマ及びドキュメントにおいて、フィクションといえども暴力犯罪、残虐性等の表現は簡潔に努め、過度に刺激のないもととする。

この文を各自で判断していただければ結局のところ、いいかと……。

余談ですが、家庭用ゲーム機はパンチラ、ちらつと局部とか完全NGが普通です。

女の子ゲームを発売する際、ここで大概引つ掛かります。

なので、小説はまだまだ緩い。

さらにネット小説はもっと緩い。

ですが、緩いからといってやりすぎないように（笑）

性以外が次回に……。

### ふじばんの戯れ事3 RとX指定(性)(後書き)

まあ、私の職業柄……、こういう知識はありますので、皆様の参考程度になれば幸いです。

絶対というわけではないです。

ちなみに強姦行為……例えこれは寸前でもきついです。

まあ、読んで頂いた方々の自己判断で。

いってしまえば私こと、ふじばんの戯れ事ですから……。

## ふじばんの戯れ事4 こんな主人公は嫌です

とりあえず、物語を構築するためには登場するキャラクターが必要不可欠です。

エッセイや、FFでもないかぎり登場キャラクターは物語を作る上で重要なキーパーソンをしめています。

その中でも最たる重要なキャラクターは、主役ですね。読める小説は主役が生きています。動いています。

私は正直、評価の虫です。

正直言いますと書くより読むのが好きです。

あ……。

そ、それが更新をサボっている理由じゃないですよ。

閑話休題……（無理矢理）

さて、今回はこんな主人公はやだなというのをあげてみます。

まあ、とりあえず1番嫌なのはジャンルにもよりますが大別力テゴリーでいうなら

「恋愛」

「ファンタジー」

「SF」とかで、何においてもパーフェクトな人。

勉強せずに全国No.1の成績。努力を全くせずに無敵な運動能力。とりあえず説明なく男女共にモテる。性格は聖人。

こんなのを全部まとめたキャラクターは感情移入できません。

まあ、

「コメディー」ならいいと思いますがね。

こんなキャラがギャグキャラならば笑って見れます。

「推理」も、まあ……いいと思います。基本、頭良くなきゃ推理するのは難しいですからね。

でも、金田 少年は、赤点の常習犯。

工藤 一は、音楽センス零。

そもそも聖人君子ではありませんし、上記に上げたパーフェクトマンではないです。

結論……。欠点は読者に共感を得やすい……ということですかね。

話事態が盛り上がりません。

なにより、機械的です。

私はイヤですよ、こんな主人公。

私は書けません。

だって話進まないから……。

ついでにいうなら書いてもつままないから……。

お次にこいつは賛否両論ですが……。

こと、

「ファンタジー」や

「アクション」ではこんなのは嫌です。

一世を風靡した、今でも根強くファンがいる某アニメの主人公タイプですね。

周囲から立ち上がらなければ後悔するとか、色々背中を押して

もらっているにも関わらず、まっつっつっつっつと動かずBAD Endを迎えるとかいうのです。

あれは当時、斬新でしたが、ぶっちゃげ一回でいいです。

第一私は二度見たいとは思わないですね。

いらつきますから、主人公の行動力の無さに。

読み手は主人公に感情移入したいものだと思っています。私は……ですが。

そんなキャラクターを感情移入しちゃったら、どうなります？

ただ読み手はイライラして不完全燃焼するだけです。

BAD EndはやはりHappy Endに比べると人気がないのは上記のせいもあるでしょう……………たぶん

私はBAD Endも有りと思う人です。

ただし、何も行動せずに迎えた世界破滅系のBAD Endはイヤです。

あがいた末、無理だったならともかく…………。

でも、例外はあります。

ここでいう大別ジャンル、

「恋愛」と

「ホラー」です。

「コメディ」はそもそも笑いを取るのが目的としておりますので、敢えて無視の方向で…………。

「恋愛」に関しては、まあ…………それも味かなつと。

主観を変えれば面白いかもしれないですね。

例えば、行動出来ずマゴマゴしているうちに恋敵に相手を取られた。

後悔の念を書けます。さらに心機一転、略奪愛に発展させる事もできますし、諦めるまでの紆余曲折も描けます。

こんな展開が嫌な人もいるんでしょうが……。

「ホラー」に関しては、怖ければ良作です。正直B A D E n dで構わないと思ってます。

主人公が、悪霊に立ち向かうとかなくなってしまつとそれは

「ホラー」というより

「ファンタジー」だと思うのは私だけですかね（笑）

おや……。気付いたら嫌なのしか上げていない。

ちょっとまとめましょう。

まあ、簡単にいうなら主人公に何らかの欠点をつけようということですね。

1 番小説の媒体とした主人公で後々に発展しやすいのは心の脆さですかね。

小説は漫画と違って心理描写がとにかく書きやすいです。

その代わり微妙な顔の表情は難しいわけです。

わざわざ難しい茨道に行くより、やりやすいのではないでしょうか……。

とりあえず、長くなったのでこの辺で……。

今回はやつちやいけない主人公しか書けなかったのは携帯の電池の問題です。

機会あつたらキャラクター創作でも。

## ふじばんの戯れ事 5 句読点

自分で発した次回予告は華麗にスルーする……。

ゲスな物書き、ふじばんでございます。

いや、いずれきちんしますから。

ただ先におきたい内容だったので……。

コホン……。

今回は句読点の付し方について、書かせていただきます。

何気に句点と読点を逆に思ってしまったている人がいるはずなのでそこからはつきりさせますね。

「。

」

こっちが句点です。

「、

」

こっちが読点です。

ちなみに恥を忍んで言うならば私は逆だと思っていました。  
結局、今の勤務先で恥をかきました。

ま、私の世間話なんかどうでもいいですね。  
ちなみに言いたい事はこれではありません。  
ただの前置きです。

さて、本題へ……。

さすがに句点に関しては、別に問題ありません。  
問題としたいのは読点です。



皆さんの作品を読んで、時々考えることがあります。

私は国語の先生でも、日本語の権威といわれている先生様等とはほど遠い一般ピープルなので、正しい読点の付し方とか言えませんが、

読みにくいとは言えます。

#### 例文

先日社長の息子とかいう若造がうちの支社に視察と称して来たのはいいがよりにもよって私の机の前で立ち止まり私の机の上に置いてあった雑誌をとりしかめつづらをした後ネチネチと仕事する気はあるのかとか喚いていたが私は聞いているふりをして今日の夜友人に誘われている合コンに意識を向けていた。

そもそも、読点どころの問題でもない文章なのはさておいて、とりあえずダメ臭いですね。

んでは、読点を付します。

先日、社長の、息子とかいう若造が、うちの支社に、視察と、称して、来たのは、いいが、よりにもよって、私の、机の、前で、立ち止まり、私の、机の、上に、置いて、あった、雑誌を、とり、しかめつづらを、した後、ネチネチと、仕事する気は、あるのか、とか、喚いていたが、私は、聞いているふりをして、今日の、夜、友人に、誘われている、合コンに、意識を、向けていた。

ここまですると、ある意味爽快ですね。

当然ながら、両方とも読者に文章を読ませようとする気が片鱗

も感じられません。

さすがにここまで酷い人は滅多にいませんが、とりあえず例文ということでお察し下さいませ。

言いたい事さえ皆さまに伝わればいいのですから……。

まあ、何がダメとか見れば分かりますが、前者は読点がありません。後者は付しすぎもいいところです。

正直……、後者は滅多にいませんが念のため。

漠然としすぎて何が言いたいかわからない人は、とりあえず口に出して朗読してみれば、私の言いたいことが分かるのではないのでしょうか……。

読点が無いほうは、息継ぎのタイミングがわかりません。

読点が多すぎるほうは、長いのでイライラします。

両方に共通して言えるのは、内容を理解する前に挫折します。

私なら、読み飛ばしますね。

それが評価依頼を承った作品でも……。

別に会話文じゃないし、息継ぎとか、問題ないじゃん？

と、思われるかもしれませんが……、待ってくださいね。

読み飛ばされて、いいんですか？

せっかく練って練って練って……作り上げた世界感の説明を……。もしくは、心情の微妙な揺らぎを記した場面を

……。

重大なシーンを読み飛ばされるのは、読者にとってマイナスです。

話が繋がらないですからね。

読み飛ばした読者が悪いとか言うならば、何も言う事はありません。

その読者が来なくなるだけですから……。  
評価の が、一個になるだけですから……。

感想欄に、なんかいきなり話が飛んだんだけど？  
と、書かれて該当箇所に説明は入れているはずなんだけど……、  
とか有り得ます。

それはただ単に、読み飛ばされてしまっている可能性が大了。

まあ、自己弁護いたしますと……、滅多な事では私は読み飛ば  
しません、零ではありません。

誘惑と戦う時があるのは、白状します。  
更正依頼なら、別の意味で燃えますのでそんなことはしません。  
ですが、感想のみは、まれにやります。

(ああ)……、評価依頼来なくなるかも知れない……)

まあ、私の事はどうでもいいです。

読み飛ばしが問題なのです。

だから、何故読み飛ばしされるのか、検証してみましよう。

まず、私ならやはり長い一文の癖に読点のかけらも無いところ  
ですね。

読むのが面倒になります。

次に前の章でも上げましたが、改行ですね。

私の場合は、携帯で閲覧しているため余計に読点と改行の有無によって読みやすい、読みにくいのはつきりくつきり分かります。

ちなみに私の作品は携帯でもパソコンでも読みにくいところ指摘を受けた事があります。

結論……。

果たして私がそんなこと言う資格があるのか……とか、思ったりもしますが、とりあえずこれは教科書ではなく、ふじぱんのエッセイです。

主張です。

独断と偏見です。

気にせず進行します。

例えば会話文でなくても、息継ぎが自然に出来るタイミングで読点をお願いします。

ちなみに、参考にならないでしょうが、私の句読点の付し方です。

読点は、半呼吸。

句点は、一呼吸。

それ以上は、三点コンマ二つ（……）プラス句読点……、てな感じです。

どこかで聞いた情報なのか、私が勝手に思い込んでいるのか定

かではないですが……。

大きく道を外れている法則ではないと思われます。

多分……。

そもそも学生時代、国語系の成績は褒められたもんじゃないですしね。

さて、今回はこの辺りで……。

## ふじばんの戯れ事6 ファンフィクションから学ぶ物

さて、こんなに読んで頂ける読者がいらつしゃると思ひもよらず、迂闊な事を書けないなあ……と思ひながら、またまた危険な発言をしまくると思いますが、ご容赦くださいませ。

さて、今回のお題はファンフィクションについてです。

何気に思つた事なのですが、やつぱり読みやすいんですね。何故なら、すでに世界感とキャラクターが完成しており、筆者がその世界が好きだから……。まさに、これですね。

さて、ファンフィクションとネット小説は切っても切れない関係にあると思います。

GoogleでもYahoo!でもいいので、作品名（スペース）小説で検索かけるとゴロゴロそんなページがでできます。

この

「小説家になろう」の作品も個別でヒットします。

あゝ……、いい時代だ。 お金出してまで駄作を買うより、ネットで好みの小説を探したほうがかさ張らないし、良作に会った感動はなかなかないですね。

ま、私の見解は置いといて、ついでにいつのまにか脱線してしまった話を強引に元に戻して……。

ファンフィクションを書く上での注意事項をツラツラと……。

まず、著作権です。

当然ながら、金の亡者と呼んでもいいほど浅ましい業者の存在があります。

フリーな作品はフリーです。      けど、使つと怖い思いをする著作があります。

そもそも著作権とか、歌つているところがありますが、著作権とはそもそもなんなのか……。

曖昧な知識で嘘を書くわけにはいかなかったのでとりあえず調べました。

著作権とは、著作物を排他的・独占的に利用して利益を受ける権利の事を指し、知的財産権の一種である。

他の多くの権利と同様、国ごとに権利の具体的な様態が異なっているが著作権法によって保護の範囲や対象などを規定する場合が多い。

バイウいきぺでいあ

……………コピペすれば数秒。

けど、悲しいかな……。      当方携帯なため、一文字ずつ打つ羽目に……。

まあ、それは置いといて（話し進まないから）……。

ようは、ファンフィクションで金を取るなど、言っているわけですね。

ん？

と、すると……。

コミケとかで売ってる同人誌ってほとんどダメ臭いような気がするのでは……。

金取ってるくさいですもんね……。

行ったことないからよく解りませんが……。

まあ、私はあえてこの地雷は踏みません。

まあ、ネット小説での場合がこの場のモットー。

そっちのほうはそっちのほうで対処するでしょう。

まあ、金を受け取らなければ許容という事になるのですかね。

極甘……！

ただ、何のファンフィクションかを記載する必要はありますね。作品のキャラを出しときながら、これは私のキャラだとか言わなければ、騒乱は起きないでしょう（当たり前だわな）。

ついでに著作権法も調べました。

また手打ちか……。

著作権法とは、著作権の範囲と内容を定める法律。知的財産の保護、盗作への罰則に関する取り決めを定めた法律である。

あ……。

範囲について調べ忘れている……。



しょ、少々お待ちを……。

結論！

ごめんなさい。わかりませんでした。

奥まで潜れば出て来るとは思いますが……。

ただいますでに空は明るく、本日仕事なのです。

でもまあ、おもしろい知って損はない記述を見つけたのでこれでご勘弁を……。

海賊版について……。

著作権を無視して製造される違法・非合法な製品。すなわち、著作権者の許諾を得ずに無断で制作・製造され不当に販売されることから、製作者（個人・法人・組織・集団などの形態は問わない）や販売者（「販売店」や

「取扱店」など）に全利益が分配されてしまう。

当然、著作権使用料が著作権者に支払われない。

まあ、大手コミュニティサイトのモバ―とかに

「無料で着うたをとれるサイトを教えてください」

とか、犯罪予告を堂々と載せる方もいますが、ログを警察を介

した場合は提出義務が発生しますので、愚かな力キコミとしか言えませんね。

ネットでも発言には責任を持ちましょう。

警察やら裁判所のログ提出を無視し続ける某サイトですら、犯罪予告とか、犯罪ライブすると、正義感に燃える方々が個人でログ解析をしちやい、個人情報をごぼつと流出されちゃう世の中です。

正直、ログ解析とか個人でも出来る昨今、ネットでも馬鹿な発言は控えましようつてことですな。

……………また脱線している。

小説と何の関係があるんだか。

脱線の達人、ふじばんです。よろしく。

そういえば、海賊版で思い出しました。

お隣の国で、面白い事件がありました。

私ら世代で知らない人はいない（あ、私の歳ばれるかな？）あの有名なドラゴボールのオンラインゲームを作ったはいいけど、その著作者様にキャラクターの使用許可を得る事が出来ずに、頓挫しかけているという……………。

こほん。

ごめんなさい、脱線しすぎました。

元に戻します。

元々、何の話だったか……。

ファンフィクションですね。

いつのまにか著作がどうたらこうたらになって海賊版にいつておりましたか。

まあ、ファンフィクションを取り扱う時は、細心の注意が必要です。

自分の作ったキャラクターが、他の人により汚されて（18禁にされるとか）それでお金を稼いでいるとか、恐らくどの著作者もいい顔しません。

まあ、例外もありますが。

むしろ、喜ぶ著作者も事実いました。

某漫画なんですが、その単行本の作者のおまけページにそれらしき事書いてあったりしますし。

それならいいでしょう。ですが、一度でも著作に関して訴訟を行った法人などの作品の使用は危険です。

日本の企業で最も急先鋒はコミですな。

昔、この会社の恋愛シミュレーションゲームの同人に対して、訴訟を起こしました。

結果、ファンが一人離れ、また一人離れて、最後の続編に至っては赤字だそうです。

どうでもいいけど……。

どうも、脱線しすぎですね。  
気をつけます。

まあ、ファンフィクションというのは、書く人はその世界が好きなんですよね。

無料の、利権も絡んでいない物は特に……。

いまでこそ廃れが見えているネットゲーム、ラグ ロクオンラインなんかは、そういうファンサイトとか見てプレイした人が多く、次々と新規顧客を獲得できた話は有名ですし。

楽しいから書く訳で、いかに楽しいか伝わりやすいというわけです。

だからファンフィクションってバカに出来ないんですよね。

確かに既存の設定や世界感です。

でも、それを昇華した作品が数多く生まれていくわけで（まあ、中にはハズレもありますがね）……。

まあ、何が言いたいかと言うと……。

世界感や設定は既存な分、だからこそ、物語を深く掘り進める事が出来るため、良作が生まれ易いというわけです。

汚い話、読者獲得しやすいですしね。

ファンフィクションを読みに来る読者層は、例外を除いてその作品のファンフィクションだから読みに来るわけです。

その話が面白ければ別の作品も読んでもらえるわけです。

まあ、そのぶん読者の意に沿わない話書きちゃうと叩かれる危険もあります。

（死にネタとか、死にネタとか、死にネタとか）

ファンフィクションなんかとか思っている方……。騙されたと思って読んでみては如何でしょうか？結構勉強にはなりますよ。

なにより、様々な感情によって創作意欲が沸けばしめたものです。

自分もこんなのが書きたい！！

私はこの感情こそ、最も創作意欲が沸く感情であると共に私にとって創作の原点です。

パクリ多いに結構。

そもそも、どこまでがパクリとかいいますと……。

盗作と呼べるレベルでもないかぎり恥ずべき点はないんでしょうか？

うまい日本語を使えばいいものを模倣すりゃいいんです。

陶芸とか、最初は模倣することから始まり、やがて自分色を作るわけです。

それが小説の世界に当て嵌まらないとか言うんなら、小説という世界はあつというまに終焉しますね。

こればかりは断言しますよ。

そもそも日本ですら、古事記だの、源氏物語だの、遙か昔から創作とかやってるわけですから、何かしら、優良な設定やらは太古

から出ているわけで。

設定が被っている程度、パクリとか言われたら、ほぼすべての作品がパクリになってしまっうわけで……。

さすがに今回は、いつも以上に恐れも知らない事をグダグダ書いてしまいましたので、フルボツくらいそうですがあえてこのまま掲載します。

とりあえず、ヘタレた弁明をすると……。

ふじぱん個人の主観に基づく主張でありますので、これが絶対ではもちろんありません。

叩くのならマイルドに優しくめにお願いします（オイ）

## ふじばんの戯れ事7 世界観はきつとこんな感じ？

更新遅れて申し訳ありません。

……と、まあ……。

blog調な挨拶は置いときまして、こんな所で更新を遅れた理由を書き綴るのは、ある意味マナー違反なので、それは後書きで言い訳します。

んでは、早速、今回のテーマは……。

『世界観！！』

ここで頭の中でズビシッという効果音が再生されたら幸いです。早速脱線はさて置いて……。話を戻します。

世界観と一口に言いましても、様々な背景があります。

これの確定によって、物語の流れが決まってしまうと思います。例に上げやすいのは、ホラーですかね。

ホラーはそもそも、書き手が読み手の恐怖感を与える必要があるわけです。

与えられなければ、失敗です。

映画やゲームで恐怖感を与えるのはテキストがヘボでも、演出次第でなんともなります。

恐怖感を助長させる小道具や大道具がありますからね。

まずは、音楽（BGM）……。

緊迫のシーンで、明るい音楽を流すバカはいないでしょう。

そして効果音（SE）……。

悲鳴や、馬鹿でかい音での演出……。

これで十分、視覚だけではなく聴覚をも使い恐怖感を助長させる小道具になるわけです。

さらに絵があります。読み手（と言っていいのかな？ この場合）に想像させる必要がなく、そのシーンを見せれば良いわけなのです。

絵という大道具があるわけです。

漫画とかでも、これは武器になります。

それでもつまらないホラー物の映画やゲーム、漫画があるわけですが、それはただ単に演出のやり方が下手くそなだけですね。

さて、前置きはここまでにして……。

小説のような文章だけで、人に恐怖感を与えなければならない場合……、何に対して恐怖してもらいたいかという事がキーパーソンになります。

心霊的恐怖（幽霊とか、祟りとか科学的ではないジャンル）。精神的恐怖（混乱とか、疑心暗鬼とか心の問題のジャンル）。人為的恐怖（グロ系とか、肉体的苦痛系とかのジャンル）……。ホラーだと、おそらくこの三つが主流かと……。どれを使って読み手を恐怖という感情に搦め捕るかは、書き手次第です。ただ、共通して言えるのは読み手に想像させなければならないということです。

舞台は廃れた田舎の夏……。

……という説明文を用意されたとします。  
どんな風景が想像されますか？



一面、見渡すばかりの田々……。背景には山で緑林。  
遠くにはワラの屋根の家がある。

山の中腹にありそうな寒村。家は、蔦や苔がはえているのが印象的。近くに流れる川には滝があり、なんとも言えない涼。

元は漁港として栄えていたが、乱獲、赤潮、公害、魚値の下落などの理由によって漁師を廃業して行く人々。人口はどんどん減り、町から村に降格した場所。

本島より離れて浮かぶ離島……。定期船は一ヶ月に一回。週刊誌は月刊誌と同じ扱いとなり、定期船の来る日が発売日となり、4冊まとめ買い必須。すでにアニメで見ている所が翌週になってやっと漫画で見るような感じ……。

と、まあ……。ボキヤ貧な私でさえ、これだけのパターンを連想できるわけです。

で、山中を想定して読み進めていたら、実は孤島でした……。とか一氣に興ざめだったりします。

絵がない以上、文章で見せるしかありません。それを怠った場合に読み手にされる反応の一端です。

では、逆に語り過ぎの場合です。

福岡県博多市郊外の寒村……。博多市街まで車で40分。

村人は、博多織と博多人形の製作と、米作よって生計を立てていた。コシヒカリの水田は、青々と繁っており農家の会話が聞こえてくる。

「太郎ドンが東京土産でひよ子買ってきたタイ」  
「バッテンひよ子うまかねえ」

……書いててツツコミ所満載になってしまったのはさておいて。

上記の文章は、博多に住む人間にはただ不快です。  
私自身、出身が福岡なため、不快になります。

不快になる理由。

福岡県博多市なんてありません。

正確には福岡県福岡市博多区です。 漫画とか小説の描写で普通に博多市とかふざけた事書く筆者がいますが、中学の地理の授業で購入しているはずの地図帳引つ張り出して、九州のページを傾注しやがれ！ ……と、実際そこに住む読み手は思うわけです。

また、博多区は小さいため、車で40分も行つた日には、博多どころか、福岡市すらでてしまう危険があるわけで……。

つまりは、実際にある地名を使う場合は……、気をつけましょう。

よく知らないなら使わないに越したことはありません。

どうしても使うのなら、リサーチしてから、使いましょう。

不快になる理由、2。

コシヒカリを作っている米作農家はいるにはいますが、福岡に限らず、他県でも当て嵌まりますが県米というものがあり、普通そつちだと思えます。

コシヒカリは確かにポピュラーな種ですが、コシヒカリの米作で違和感を感じない県と言ったら私は新潟近郊しか思い付きません。それも私の無知の偏見かも知れませんが。

ポピュラーだからといって調べてもいない風土を安易に書かないほうがいいでしょう。

不快な理由3。

博多弁といえば、語尾につねにタイ？

バッテンの用途知ってます？

まあ、方言の用途ですね。

エセ方言は反感かいます。書き手にとって、そんなつもりなくとも地元の人からはバカにされているように感じるものです。

博多は九州で知名度が高い地名ですし、東京駅からの新幹線終点だったりする影響か、作中で脚光を浴びる事があります。

その時、エセ博多弁でしゃべる現地住民を博多っ子は内心冷ややかに見ます。

スポーツものとか特にありがちですね。全国大会の福岡県

代表のエセ博多弁。

これをプロ作家がやるんだから始末におえなかったり。

まあ、使い慣れていない方言は作中に使わないにこしたことはありません。

不快な理由4

ひよ子を博多の人間が東京土産と認知して、喜んで食べてるという事です。

絶対ないんで、そんな事。

そもそもひよ子の発祥は福岡県の飯塚です。福岡県民はたいてい福岡県発祥という事を知っています。ですが、全国的に、ひよ子＝東京土産となっています。

まあ、ひよ子を作っている会社の戦略くさいですが……。

たぶん、福岡の人にひよ子を東京土産に持っていけばおもしろ

い反応がきつと帰ってきます。

諦めている人。

福岡のものだと主張する人。

とりあえず理由も言わずに怒る人。

私は諦めている人ですね。

東京本社工場とパッケージに書いてますから……。ちよっ

とネットでググればわかる事なんですが……。

ひよ子程度、東京にくれてやるよ……って思ってます。

かといって、それは福岡県でやる態度ではなく、他の県でやる態度です。

博多じゃしません。

と、まあ……。

世界観の話がすさまじく博多の地理観になってしまっていますのでさておいて……。

実在地名を使う時は馴染みある地名で行ったほうがいいといいだけです。……はい。ストーリーうんぬんの前に、読むのをやめてしまわれる危険があります。

閑話休題。

とりあえず、地理感は置いときまして……。

物語の舞台となる場所の説明、風土、歴史、時間軸などは読み手の想像の助長になります。

が、長々と冒頭で全てを語るのはあまり感心できません。

世界観の説明だけを延々と長文で書かれても、読み手は読むのに作業感を感じてしまうものです。

読み飛ばしとか、されます。

正直いいますと、興味がそこまで沸いていない物語の世界観なんか長々読む気になりません。

あらかた興味を持ってもらってから子だしする書き方のほうが読みやすいのではないかと思います。

かといって世界観の説明が書き手の脳内だけで留まっただけで中になく出てこないのは不親切極まりないです。

梅塩に関しては、難しいのは承知していますし、正解なんかないでしょう。

どうしても梅塩を計りたい場合は他の人の作品を読んでみてどれくらいの感覚で世界観説明をしていて、それを自分がうざく思っていないかどうか……、まず自分が体験するのが手取り早いです。

自分がうざいな……と思うことは、他人にとってもうざい事かもしれません。

これは自作では見えない事です。

作者自身が、世界観を1番把握しているわけですから、説明が足りなくても、語り過ぎても自分で違和感は気付きにくいものです。では、その梅塩の調整はどうすればいいでしょうか。

自分で計るのが難しいなら、自分の好きな作品の梅塩を参考にする。

これが一番楽ですね。

私の作品に提督立志伝なる駄作があります。

この作品は正直言って世界観の構築こそは出来ているものの、あまり長々と語るの好きではないという私の判断によって世界観の挿入を短絡にしまい、結果失敗しました。

感想などで、どれくらいの科学水準？ 個人が忍びを雇うのはとても不可能なのでは……とご指摘を頂き、世界観の説明挿入を急った結果が如実に表れている失敗談です。

もちろん、説明出来るんですが、そのように読者様に物語中で伏線でもない部分の疑問にご指摘頂けるのは、私の世界観の説明文がなかったことがそもそもの発端です。

実践出来ていない奴にあって、こーだ言う資格はないかも知れませんが、逆に自分の失敗をこれを読んでくださった皆様の糧になってくれれば幸いと、恥を偲んで紹介させていただきました。

まあ、世界観説明文の梅塩は、いい作品を参考に……。

と、言いたいです。

歴史物なら時代と舞台になる場所。

推理なら、事件発生現場と探偵、容疑者の素性。

恋愛ものなら、場所と、背景と、時代と、男女の設定と……。

ファンタジーもしくはSF等は……、あゝ……。

うひゃひゃひゃひゃ（泣）……。

こればかりは、語りすぎて長文にならないように。

最低限の情報は、読者に与える必要はありますね。

だが、しかし……。

全てを語る必要ありません。

この情報は読者にアツと言わせたいためにあえて伏せておいて  
いる世界観説明……、例えば主人公が認知していない情報は書く必要がありません。

というか、書かないでください。

つまり、主人公が知っている情報は書いてもいいというわけです。

主人公が知らなきゃ、読者もすぐ知る必要がありません。

というよりは、そこは書かないほうが読者を引き付ける餌になるわけで……。

コホン……。

暴走してとんでもない事を書いています、あえてそこはスル

ーでお願いします。

まあ、とりあえずまだまだ語り足りませんが、だらだら長々と書いても飽きてつまんなくなるとさっきも言った手前、今回はこの辺で……。

手遅れですか……。　　そうですか……。

今回もふじぱんの独断と偏見にお付き合い頂きありがとうございます。

## ふじばんの戯れ事7 世界観はきつとこんな感じ？（後書き）

本文中で言い訳していない、更新していない理由を暴露しますと……。

携帯の寿命が尽きかけていて長々執筆活動に耐えられなくなっているためです。

なら、機種変しろ？

いやはや……。

高いんですよ、機種料金……。

私の携帯がW51SH。

時代はもう、60台に突入……。

どうせ買うなら機種を安くしたいのですが、近場のショップは新製品を出すだけでなかなか古い機種を置かない始末。

Docomoはいいですね。なんでも2年間の料金に機種料上乘せの分割が可能で、その場はタダという……。

アフターもしっかりしているとは……。

auも似たようなことをしていますがDocomoほどおいしいことはしていないし……。

ナンバーポータビリティあるから次の年契尽きたら写ろつかない……。



ふじばんの戯れ事 8      フィクションでも訴える時は訴えられます（前書き）

あくまで本作は私こと、ふじばんのただの戯れ事です。

絶対でもなければ正解でもありません。

それを笑って読める方のみ、お進み下さい。

## ふじばんの戯れ事8      フィクションでも訴える時は訴えられます

こんばんわ、ふじばんでございます。      お久しぶりでございます。

最近の寒暖差はたまったものではありませんね。      暑くなつたのでころもがえした途端、寒くなるとかいじめだと思えます。皆さんも体調管理には気をつけてください。

さて、前置きはこの編にして本日の話題に転換します。

今回のテーマは、言論の自由と、規制についてです。

そもそも、日本には言論という法律が存在します。      しかし自由とか言っておきながら、モラルや世間体のため書けない、もしくは書いてもいいけど、とりあえず叩かれるネタがあります。

現在のところ、ネット上で書くぶんには、何も規制はありません。      取り締まる、監視する機関がない……はずです。      あゝ……、ちなみに該当してそうで全く今回に関連していないネットポリス。      警視庁ハイテク犯罪対策総合センターの事ですね。

荒らされたらここが助けしてくれると勘違いしている方が多くおられるようですが、相当な事でないかぎり動きません。

仮にも警察組織。      そんなわけないじゃないか、と思っていらしやる方……。

よゝゝゝく、考えてみてください。

例えば、原付を盗難されたとしましょう。      原形を留めていない状態で原付が帰ってきたとしましょう。

修理代を当然犯人に請求したくなるのは被害者の心情。

……が、犯人は初犯で指紋を取られた経験のない奴、または、痕跡を残すへまをしていないなどという状態で、犯人は特定できておりません。

口では捜す（被害届けを正式に提出しました。）とは言っていました、盗まれてはや5年の歳月がたった現在……、一向に連絡無し。

そんなもんですよ、原付の窃盗ですらそんなザマです……。  
軽犯罪ですから、こんなもんなんでしょうね。

そんなわけで、警視庁ハイテク犯罪対策総合センターは、警視庁の名前を冠しています。

そんな彼らが、掲示板を荒らされた程度で動くわけがありません。個人情報情報の漏洩、詐欺、犯罪予告ととれる書き込みでもないかぎり動いてくれているのかも怪しいです。

ちなみに有料コンテンツを人のIDを使って入るとかいう行為は、不正アクセスという法律違反だから逮捕されるわけで……。

名誉毀損で動いてくれるのかなあ？ 個人情報に犯人に特定

されて晒されたとかならともかく、自分で晒しといて（プロフィール欄とかで）誹謗中傷を受けたとか、つまらんから閉鎖しろとか、VIPからきますた程度じゃ、対応はしてはくれるとは思いますが、口の悪い相談員なら自業自得で終わらせそうですね。

規制の話が何故ネットポリスの話題になってしまったんだろう

……。  
話を戻します。

とりあえず、個人、団体とか、自分の事じゃないかと思われたら、ダメです。

いくらフィクションと銘うつても、激怒する人はいます。

とあるドラマで大物ペテン占い師とかいう役がいて、モデルとなったと思われる大物占い師が激怒して、陳謝を求めたのは記憶に新しいですね。

まあ、日本人は民族性質上、裁判とか面倒臭いのでそこまでやったりは滅多にしません、裁判になったらまあ負けるでしょうね。

筆者がそのつもりなくても、本人がそうだと思い込まれてしまつたら、サイトの閉鎖、削除、謝罪に最悪賠償金沙汰と、ネット小説とはいえそこまでされるでしょう。

てなわけで、特定の団体・個人を連想して出来た設定でも、悪役とか、マイナスイメージとかの場合は気をつけましょう……。

どう、気をつけると？

使うな、が1番ですが、そんなこといつちやなんの解決にもならんですね。

んでは、こういうのはどうでしょう。

外見、名前は勿論の事、性別まで変えてみます。

それでも怖いなら年齢をおもいきりいじりましょう。

ただ注意してほしいのは、いじりまくったはいいけど、なんか別の実在人物になってしまった、とかならないように。

団体の場合は、モデルとなった団体の正式名称からとりあえず遠く離れた名称。

それでも警戒するならば、モデルの団体を徹底的に調べて、作品のイメージに変更しても良い所をいじっていいじっていいじりまく

りましょう。       もう、痕跡も残らないくらい徹底的に。

「いや、貴方（貴社、貴団体）のイメージから全く遠く連想もつかないんですがそれでも誹謗中傷と？       自意識過剰ですよ、いくらなんでも」

上の文はいいすぎです。       絶対言わないように。       ふじばんが言えと言ったとか言わないように。

そこまですればきつと大丈夫かもしれませんね（自信なんかないですよ？       人間の思考なんか十人十色の諺のとおりいろんな人がいますから）。

まあ、あくまで私の主張ですので絶対ではありません。       今回は特に！

さて、今回こそ投稿しちゃって大丈夫でしょうかね。  
フルボッコ程度ですめばいいけど……。

## ふじばんの戯れ事9 主人公像の考察

さて、過去にやるとかいつておきながら放置していたネタを消化……もとい、脚光を浴びせましょう。

今回の話題は、主人公の人物像です。

まあ、やつちやいけない主人公に関しては、すでに語り足りないけれど語っています。

んでは、どんな主人公ならいいのかというやつを検証してみましよう。

まあ、ヒット作品を手にとって見れば一目瞭然。      ここで語るまでもないかも知れません。

あえてあげるならこんな感じですかね。

1、      平々凡々。

スタートラインでは天才でもバカでもない一般人。      若干平均より劣っているでもこれに分類できますか。

このパターンは人より好奇心が大なり小なり大きいばかりに物語の事件に巻き込まれてしまうタイプなので、物語が進行しやすいです。

読者としては、自分をその身に委ねて物語を進行できます。

やがて人間性、柔軟な思考、ジャンルによつては戦闘力に人望などと、成長要素が期待できるキャラクターですね。

初期では内向的で自分の判断では到底動けなかった娘が、話が

進行するうちに、勇気や度胸を兼ねて行き、しまいには思い人に告白出来るようになる。

初期では、強い奴の陰に隠れ、強敵に出会ったら逃げるような戦力外、もしくは雑魚もいとこだった人が、終盤でついにラスボスと対峙し致命的な一撃を与えたり、倒したりとか。

成長するというプロセスの楽しみというか、成長した後の結果というか……、なんとなくニュアンスはわかりますかね？

つまり、ゲームのRPG（対戦車歩兵砲ではありません）と一緒ですね。経験値を貯めてレベルアップ。

こんな作品は好きな人は好きです。  
私も好きですね。

## 2、人が憧れる職業

刑事に探偵、軍人に忍者、海賊、騎士に王族にスパイにスポーツ選手にアイドル、売れっ子歌手に、高校生。

上げればきりがありませんね。

称賛されて嫌な人はあんまりいないでしょう。また、やっている事が傍目かつこよい職業とかも自分が物語の主人公として疑似体験できますから、面白かったりします。

推理小説とかでもよくありますよね。探偵や刑事が、事件の痕跡を元に犯人、凶器、動機などを読者と一緒に推理していく。現実世界で体験できないことが題材ですから、読んでて楽しいです。

そこにほんのりと、現実を生きる人に共感を持たせる欠点。  
日本人でいえば、きまじめで頑固だとか、マイペースすぎるだと

か、興味あることは全力で取り組むけど興味ないことは全く興味を示さないとか、守銭奴だとかを付加することで、いい味がでます。

社会問題でもいいですね。離婚問題を抱える夫婦やら、結婚したがない若者世代とか。

### 3、才能型

これは、最近の風潮ですね。勝利＝友情＋努力の計算式にさらにプラスアルファとして才能、もしくは遺伝とかも付加されております。

流行っているということは、きっと読者を引き付ける何かがあるのだと思います。

私では計りきれませんのでコメントは差し控えていただきます。この魅力はわかんないのでとりあえず沈黙を選択するということでご勘弁を。

### 4、実在人物

創作のネタになるくらい魅力的な実在人物ですね。その人を見るもの、聞くもの、考え、筆者独自の創作部位に対して、こんな反応をするだろうという見解と……。

もしくは、パラレルワールド。IFの世界で、もし仮にこの人が死ななかつたら、とか……、この戦いの勝敗が逆転していたら……とかですね。歴史的ロマンをひもとくようで、読んでいる読者も楽しくなります。

と、まあ……、まだまだいろんなタイプの主人公がいます。ちなみに追記なのですが、よく一対複数の恋愛もの（私はこういう作品をハーレム小説と読んでます）には、優柔不断のキャラ、



もしくは朴念仁と相場が決まっています。

たくさんの異性が主人公を取り合うという大前提があるため、主人公の性格設定はそうなりやすいです。

ただ、得てして同性読者からは嫌われますね。

優柔不断すぎてイライラする、とか、なんでこの人を選ぶんだよ、とか……。

この手の主人公が読者に人格面を認められるって、まずないかな……っと。

ハーレムである以上、滅多に読者から好かれるのは難しいです。この場合は、読者の支持は諦めた方が無難ですかね。

異性の主人公に対して恋心すらいだいていない人から見たらこんな主人公って、極悪人もいいところです。

さらに悪く言ってしまうと、期待させるだけ期待させといて最終的にはお預けを喰らう。

リアルにこんなのなら私は軽蔑の対象です。読者に嫌われる要因の一つですね。

この場合は、主人公に魅力付加は捨てて異性キャラに主人公に付加すべき魅力作りが必要です。読む人はありたいとい、主人公なんてどうでもいいと思っている人は多いと思いますから。

あ……。誤解されるまえに言っておきます。ハーレム作品はおもしろいものはおもしろいです。異性キャラに魅力ありますから。

私はこの場合、異性キャラを見に行っていると断言します。

とまあ、当たり前の事しか書けないので、取りあえず放置していたネタでしたが、この辺りで……。

主人公は、読者の分身か、世界の語りべ。

他にも役割はあるかもしれませんが、私程度の認識はこんなものです。相変わらず独断と偏見の域をでておりませんね……。

それでは、次回お会いしましょう。

## ふじばんの戯れ事9 主人公像の考察（後書き）

次回は、段落について検証を行いたいと思います。

まさかりクエストを貰えるとは、夢にも思っておりませんでしたが、初リクエスト。

気合いをいれてがんばります。

## ふじばんの戯言 10 段落

段落って文頭のスペースのことですよね……。

さて、今回は段落についてまたまたふじばんが暴走気味に独断と偏見のもと検証します。

中学時代から国語の成績は壊滅に等しい私の意見ですので、ボケた解答になってしまっている可能性があります。先にご了承くださいませ。

まず、そもそも私が文頭にスペースを入れてる理由は、自分が携帯で読書している時、小さなディスプレイに敷き詰められた文章を読むのが若干苦痛だったからです。　　ということは、同じ事を思っている人もいるんじゃないかと思い、その日から文頭にスペースをいれたわけです……。

私自身もつい最近まで、段落を軽視していました。　　ですのであまり偉そうに語れないのですが、現在の私のスタンスということをお願いします。

あるとないでは、やはり読み易さは歴然です。

とにかく例題を……。

ふじばんは、何気なく買ったロト6の結果を見るため、普段読みもしない新聞の朝刊をコンビニで購入した。給料前の前日で財布の中はスカスカだったが、一縷の望みに賭けて……。

新聞の宝くじの欄を捜すふじばん……。普段、読まないため、捜すのに手間取っていた。経済欄に文化欄、スポーツ欄まで読む。やっ  
と見つけた。ふじばんはロト6を財布から取り出し、当選番号と比  
較する。

な、なんと！当選しているではないか……。6つも正解。しかもキ  
ャリーオーバーで2億円突破。やった、これで会社に辞表をたたき  
付けて辞められる！これって夢じゃないよね？

夢でした。辛い現実は今日も繰り返される……。

PCで読むぶんにはそんなに違和感はないのですが、携帯で読  
むと、私はなんだか読みにくいです。人それぞれだと思います  
が……。

例によつて例の如く、修正して見ましょう。

ふじばんは、何気なく買ったロト6の結果を見るため、普段読  
みもしない新聞の朝刊をコンビニで購入した。給料前の前日で  
財布の中はスカスカだったが、一縷の望みに賭けて……。

新聞の宝くじの欄を捜すふじばん……。普段、読まないた  
め、捜すのに手間取っていた。経済欄に文化欄、スポーツ欄まで読  
む。やっと思つた。ふじばんはロト6を財布から取り出し、  
当選番号と比較する。

な、なんと！当選しているではないか……。6つも正解。  
しかもキャリーオーバーで2億円突破。やった、これで会社に  
辞表をたたき付けて辞められる！これって夢じゃないよね？

夢でした。辛い現実は今日も繰り返される……。

私は、PCを所有していないため、読む媒体は携帯です。  
そんな私が上記の文章どちらが読みやすいかといいますと、段落を開けている方が読みやすいです。

これは、私が自分で書いてて気付いた事実ではありません。  
人様の作品を読んでいて、なるほど、こっちの方が読みやすいな……、と気付いたので私は段落を文頭に入れるよう心掛けるようになった次第です。

はつきりと言えるのは、正しい書き方というものはないです。  
読者が不快感なく読めればそれでいいんじゃないかと。

では、どうすれば、不快感なく読めるかということですが……。  
極めて難しいですね。

そもそも、ある人にとっては読みやすいですし、ある人にとっては読みにくいと、どんな文体にしても起こりうる事です。

結論……。

自分が読みやすいと思える形が望ましい。  
これしかないですね。

なんか、あんまり参考にもなりそうにない事を語っておりますね。  
申し訳ないです。

## 書く踏ん切り

こんにちは、ふじばんでございます。                      気付けば長期連載停滞の警告が出ておりますので、かなりの日数をサボっていた計算になりますね…………。

弁明はあとがきにでも記載させていただきます。

では、本日はやる気について独断偏見混じりに書かせていただきます。

創作に携わる以上、どうしてもモチベーションが上下します。

その日の天気だったり、良作を見た後だったり、恋人と別れ話をした後だったり…………。

アマはまあ、筆休めしてまったり時間を置いてモチベーションの回復に努めることができます。

しかしプロはそういうわけにはいかないのが現状です。  
書かなければお金が入りませんしね。

と、アマの逃げ文句を書いたところで状況は変わりません。ネット小説とはいえ書いて作品を発表し、一人でも読者がいる以上どんなに時間がかかって、どんなに周期が開いても書かなければ読んで頂いている読者に失礼です。

しかし、モチベーションばかりはどうしても個人でコントロール出来ませんので先人の知恵を借りましょう。

まず自信がなくて書けない人に次の台詞を送ります。

「我々はわけのわからないまま書き始めるのです。そして  
精一杯、書けるものを書きつくすのです。我々は疑わしい  
事に情熱を燃やせるし、情熱を燃やすことが我々の仕事なのです。  
それ以外は芸術の狂気です」

## ヘンリー・ジェイムス

自信満々に完璧ともいえる著作なんてありません。  
どうせ私なんかの作品は貶されて消えていくのがオチだ……、  
なんて思ってた書くのをためらっている方……。

気持ちにはよくわかります。私も常に同じ事を思いながら、  
投稿のボタンを押すのには躊躇しています。

こんな事書いていますが常にフルボッコされるだろうなあ、  
とか思いながらも書いています。

ただ書いて発表しなきゃフルボッコされませんし、永久に  
頭の中から出てきません。

いきなり名作を残せるライターなんかめったにいませんし、  
書いて批判をもらわない事にはいつまでたっても成長出来ません。

最初は、批判上等！ お手柔らかに

宜しく、くらいの気持ちでポンと書いて、客観的な意見を聞いてみ  
ては如何でしょうか？

幸いにもこのサイトには、評価依頼を請け負って  
くれる人らもいますし……。

まとめます。

書かなければ何も始まりません。 はつき  
り言えることは、書いて書いて書いた分、作品の味が増していきま  
す。 逆に言えば書かなければ何も変化しません。



と、まあ……、また偉そうな事書いていますがあ  
くまでふじぱんの独断偏見の主張でした。

次回はスランプあたりに注目します。

## 書く踏ん切り（後書き）

以下は更新しなかった言い訳になります（汗

前使用していた携帯が天に……いえ風呂場の水にコポコポコポ……と。

諦めて新しい携帯買いました。

そして……つかいにく！

句点はどこだ、なんだこの打ちにくさは、改行どこだ、そもそも私のIDとパスワードなんだったっけ？

……そういうわけでした汗

## 漢字って難しい

かつて誤字の脅威である程度語ったのですが、今回は漢字についてある程度の解釈を試みようかと……。

やはり、漢字に関しては難しい字を好んで使用している猛者もいらっしやいますが、読めない人は読めません。

また、意味は分かるもののなんと読むか分からない字とかも、何気に読み手からしたらストレスになるものです。

それでもルビをふればいいではないかと、ルビをさらっとふっていたいている御方もいらっしやいますが、そのルビが誤字なのか思い込んでいてミスっているのか分からない時もありします。

そこで改めて漢字について検証してみるか……という流れになった次第です。

まず、同字だけど意味の異なる例……。

### レベル1「変化」

この字は簡単ですね。　一個目の読み方は「へんか」。

意味は変わることに。　もう一つの読み方は「へんげ」。　意味は形が変わって他のものになって現れること。

この辺りは前後の文章でどちらかはわかりやすいので問題ないですね。

んでは続きましてレベル2「上手、下手」

一方の読み方の「じょうず、へた」は誰でも読めますし、今更

この場で例文をだすまでもないですね。

もう一方は「かみて、しもて」

地名とかいうオチではありません。まあ、地名にも使われ

ておりますが、あえてこの場は置いておきます。

意味は上手は舞台で観客席から右の事をいい、下手は左を指します。使う際はルビがないとキツいかもしれませんね。

レベル3「好事」

読み方は「こうじ」の方が有名ですかね。意味はよいこと、

めでたいこと。例文としては、好事魔多しなどが有名かと。

もう一方は「こうず」

意味はもの好きとか、風流とかですね。もの好きの事を好事家ともいいますね。

まあ私は国文学者や国語教師のように専門家ではありませんので初歩中の初歩しか紹介していませんがまだまだ同字で異なる意味を持つ字は大量にあります。

ルビをふる際にはお気をつけくださいませ。

さて、他のパターン、似すぎている漢字を紹介します……。

「萩」と「萩」とか典型的な例ですね。両方とも植物な上

に、萩本さん、萩本さんと名字でも使いますし「山口県萩市」や「萩窪」といったように地名でも使います。作中の登場人物に上

記の名前を使用した場合、ついつい馴染み深い読みで読んでしまう場合があります。

ちなみに私は福岡出身で萩の方が馴染み深く、萩窪を「はぎくぼ」と読んで赤っ恥をかいたことがあります（汗）

まあ、続けます。

「治」と「治」……。並べてみても一見同じ字にしか見えないのは私だけではないはず（……たぶん）。

治癒やら治水やら政治、自治などこちらはポピュラーですね。

んで、冶金<sup>やきん</sup>、陶冶<sup>ていぎ</sup>、鍛冶<sup>たんぎ</sup>と……。チキン、トウジ、タンジではありません（汗）。

他にも、「師」と「帥」だの、「嬌」と「矯」だの、「戌」と「戍」だのと多々読み手を惑わす字があるんだから日本語って難しいですね。

次のパターンは、読み方が一緒に厄介な字。

こいつは漢字に限らずひらがなにもありますね。

「ず」と「づ」だの、「じ」と「ぢ」だの……。さすがに

「お」と「を」を間違う人はいないでしょう。

結構見かける誤字といえばやっぱり「一個づつ」の「づつ」。

正確には「ずつ」でございます。漢字の変換の際に大抵は気付きますがずつは漢字は無い（……ですよ？）のでそのまま思い込んでいる方もいらっしやいます。

千羽鶴の鶴とかはつるなので「つ」に濁点。鼻血の血はち

なので「ち」に濁点といったようにある程度はこうやって予測できるんでいいんですが。

ただ地震や地雷の「地」はしに濁点なんですよね。なんだ、こりゃ？

携帯の変換で「し」で変換しても「地」の字は出てきません……。

日本語って難しいですね（汗）

なんとなくグダグダですが今回はこの辺りで

## 名前についてうだうだと

携帯投稿の悲劇とでも言いましょうか……。

一時間かけて書いていた序文がさ行入力の際、パワーボタン連打で全てが消滅し凹みの境地を味わっているふじばんです。　　ここにちわ……。

懲りずにカタカタ入力しているのはただたんに諦めが悪いわけではなく、ヤケです。

みなさん、このような泣くに泣けない失敗をするまえにこまめに保存しましょう……。

本日の話題は保存に関してのつもりはありませんので念の為……。

いや、重要ですけどね、保存……。

おし、未練はここまでにして……、……………はあ……………。  
了解、忘れます。

本日の話題は、キャラクターのネーミングについてです。

ノリノリで書いてて、パワーボタン連打は危険です。

ここまででとりあえず保存、保存……。

まず主人公のネーミングについて独断偏見ぶつちぎりで語ってみます。

まずは和名のネーミングの注意点といいますが、ちょっと読者寄りの意見といえますか……。

所詮はふじばんの独断偏見ですので該当しちゃってる方は気を悪くせずにお読み下さい。

まずは複雑難解な当て字による名前ですね。

読もうと思ったら確かにそう読めない事はないけど、漢字しか

表示されていない状態で果たして何人の方が正確に読むことができるかという当て字名前ですね。

いや、意外と多かったりするんですよね、そんな名前の主人公。確かに字はかっこいいです。

しかし……。

この場合、一見の読者は名前が読めなくて読むのをやめてしまう人もいます。（いや、私の事ですけどね）

主人公はもはやその作品の顔といって差し支えないです。

そんな主人公の名前が読めなかったら、読むのを止めてしまいませんか？

私の作品に、提督立志伝なる作品がありますが、主人公にリーズという男がいます。

この男の名前を漢字の当て字にして物語を始めてみましょう。

リーズ  
利一逗は言った。

「ふじぱんのバカめ……。さ行入力失敗して全て消してやんの」

利一逗は鼻で笑ってふじぱんを嘲笑っていた。 利一逗は……。

……。

なんか書いて悲しくなってきたのでこのへんで……。

まあ、例文が短めなんで読めないことなのですが、この調子で2話、3話と続いて行くと不思議と読めないんですよね、これが……。

一見の読者様はさわり程度でしか読んでくれないだろうですから、利一逗利一逗利一逗とか、まあ読み方をわざわざ暗記してくれるものとは思わない方がいいんじゃないかと……。

確かに主人公の名前ですから読者が印象に残るインパクトな名前にするのもテクニックですが、これはやりすぎな例ですね。



さてお次はま逆のパターンです。

まあ、極端な例になっちゃうんですが登場人物がイチロージョーサブローシローゴローロクローヒチローハチローとか似通っている名前がいる中で主人公をロクローあたりにしましょう。

誰がどれやねん……。

きつとこれが読者の素直な感想かと……。

まあ、八卵性八子とかいうおそまつくんもびつくりの設定ならともかく、これがクラスメートやら同僚やらなら読者の混乱助長にしかありません。

いくら性格に差異をつけても、一見の読者様には区別というのが難しくなっちゃいます。

とか、戦記モノ書いてる奴が言ってもきつと説得力ありませんが……。

さて次にじゅげむじゅげむみたいに無駄に長い名前……。

まあ、言ってしまうえば個性ですが、特に意味もなく長い名前は読者の覚えるのは面倒かと……。

かといつてもセカンドネーム、サードネームを足して長い名前となるんなら別に良いんですが普段作中に使う名前で長い名前はやはり感心しないですね。

外国では長い名前は略称で呼ぶ習慣（ああ、別に外国だけじゃないですね、日本でも普通に使うか）ありますが、例を上げるならばクリストファーさん。

クリスとか略称で呼ばれますね。

長すぎる場合は略称を使ったほうがいいのかも知れません。

あと、大事なものは名前を適当につけないこと……。

悲しい話、自分で今まさに痛感しております。

私のハンドルネームはふじぱんです。

ふじぱんの前は不治飯本時達でした。

ハンドルネームの由来は実に単純。

目の前にフジパン社の食パン、フジパン本仕込みがあったから

……。

そして気付いたらこんな主張など書いており、そのタイトルが……。

「ふじぱんの独断と偏見による……」

「ふじぱんの……」

「ふじぱん」

もはや後戻り不能です……。

行くとこまで行くしかありません。

ハンドルネームを考えていた頃の私に耳をかつぽじって言いたい……。

「ちったあ、考えて名前つけれ！」

まあ、脱線はここまでにしといて、連載小説のメインキャラクターとかには後で後悔するような名前はつけないことですね。

私みたいな末路を辿りますよ……。

ちなみに私、しれっと藤飯とかにハンドルネームを変えようとか無駄な抵抗を企画しているのは内緒です。

あゝ……。

また脱線した。

ちよつと臭い事をのた打ちまわるなら、名前をつけるのは作者にとって作品を作るに当たって魂の部分を挿入する大事な部分になります。

ちゃらけて名前をつけたらちゃらけた作品になりますし、何気に重要な作業です。

さて、今日はこのあたりで

## 名前についてうだうだと（後書き）

この作品はただのふじぱんとかいう輩のたわごとです。

絶対ではありませんのでただの一意見としてお聞きください…

…。

と、書いておかないと安心できないやはりフルボッコは怖いと  
痛感するふじぱんでございました。

ただのヘタレです（笑）

ふじばんの戯れ言 11 一人称視点は読者を獲得しやすい気がする（前書き）

あくまで私の主観による意見なんでこんな意見もあるんだと笑って  
すましてくれる方のみお読みいただければと。

## ふじばんの戯れ言 11 一人称視点は読者を獲得しやすい気がする

お久しぶりでございます。

最後の更新は、2年以上前ってさすがに当時読んでくれていた読者様はいないでしょうね。

と、というか私自身、最近感想もらうまでこんなの書いてたの忘れていたなあと、物書きとして最低な感想をもらっていたりします。

こんなの書いていたと気付いてしまった以上、これ以上放置はできませんので、ひっそり書いてみます。

今回のお題は、そうですね……。

このなろうのサイトの作品や外部サイトでいろんな作者様の作品を見て感じたことを皆様と私の独断偏見を共有しようかなって、思っています。

所見から読みやすい小説って、私の主観全開となるんですが、

一人称形式の作品はおもしろいのが多い。

いや、ほんとに私自身が様々な作品を読んでリアルに感じたことです。

私がこの三年くらいこのなろうのサイトや外部サイトでネット小説を読んで何度も読み返した作品全てが見事に一人称視点ばかりという。

たぶん私の趣味が一人称作品なのかなっと思ったら、なるうの公式ランキングの上位がほぼ一人称作品という事実。

まあ、一人称の利点は主人公目線ってことなので、そのぶん読み手は物語の中に入りやすいということですね。

一人称の欠点と言えば視点移動が難しい、さりげない伏線を張るのが難しい、同じ視点ばかりだと別の場所で進行しているイベントが書きにくいと様々ありますが、うまい人は一話はA君視点、二話はBさん視点という感じでこの問題を爽快に回避しているツワモノもいます。

まあその場合、物語中の一日が終わるのは数話にわたってしまい、なかなか日にちが進まないというデメリットもあります。

まあ、あくまで私がそう感じたことを勝手気ままに書いているだけで三人称視点はダメだといってるわけではありません。

逆に三人称でないときついジャンルもありますよね。

例えば推理もんとか。

主人公こと探偵役が容疑者集めてトリックなどを解明している際、探偵視点で物語が進む際……………。

いや、ありだな、と思ってしまったので別のジャンルで。

例えばスポーツものとかでバッターボックスに立つ主人公こと打者。

野球で例えたのは私がルールをある程度把握してるスポーツが唯一野球なだけで他意はありません。

やつはストレートで勝負を決めてくるはずだ、ならストレートで

山張つたる！！

って、あれ？ これも別に一人称だとダメとか思わない……。

戦記ものとか、って私自身が普通に一人称視点の戦記書いてましたね。

ん？

あ……、ありました、ありました。

囲碁、将棋、麻雀とかを代表する知略系の対戦もの。

これ、プレイヤー視点だと自分がわの戦略が相手に仕掛ける前にばらしてしまいかねないのでこれは三人称視点でないと………観戦している人視点で解決とか思ってしまったのは内緒です。

……………。

恋愛もので一人称視点は感情移入しやすいですね。

コメディも別に書き方次第で一人称でもおもしろいし、ファンフィクション、ファンタジー、SFも一人称視点おもしろいの多いし、……、あれあれ？

一人称視点でないとダメってジャンル、なかったりするかも。

まあ、結論というかまとめますと、私ことふじばんは一人称視点の方が好きだということ。

や、三人称視点作品もいい作品はいいと思いますよ。

ただ三人称視点って私的には遠くから傍観しているって感がぬぐえないといいますが、作品に入り込むための入り口が見つけにくいというか……。

やっぱり結論から、人それぞれの好みですね。

これはあくまで私ふじばんの独断と偏見です。

というか私はにわかなもんで一人称小説の方が作品に入りやすい



ってことで三人称視点がだめだといってるわけではありません（これ重要）。

というか物語のキャラでなく、作者様視点も一人称になるのかな……。

そういった作風もわりかし好みなんですけど、これは三人称視点に分類されたりするんすかね？

基本的に私は硬い文章がただ苦手なんで、砕けた文体が好きなのでという結論。

うん、書き方の参考にすらなってないですね、今回は。  
ただの私の感想なだけでした。

……こんなの投稿して大丈夫かな。

## ふじばんの戯れ言12 キャラクター紹介って必要？

どうも、どうも、ふじばんです。

まあ、今日も恥知らずにものたち回るため参上しました。

さて、テーマですが、キャラクター紹介は必要か否かを思うまま書いてみます。

私の意見としては、あってもなくても、って感じです。  
ただし以下の点においては不要かな、っと思います。

登場もしていない時点での紹介。

歴史の教科書に書いていそうな堅苦しい文体での紹介。

一番最初の、登場もしていない時点でのキャラクター紹介。

前書きとかに随時更新しています、とか書かれていてもふじばんのようなただの軽い読者にはそれだけ読んでその作品どっか行きます。

その文章が説明書みたいな固い文章で書かれていたらなおさらです。

そんなところにキャラクター紹介書いてもメリットがまず私は見出だせないですね。

まだ読んでもない作品のキャラクター紹介を真剣に読むなんて人はたぶんいるでしょうけど、私は全スルーします。

ネタバレ書いてる人もいますし、登場もしていないキャラクターに愛着なんかあるわけありません。

なんか最近いろんな作品読んでいたら冒頭にキャラクター紹介を書いている作者様いっぱいいるんですが、流行っているんですかね？

もしそうならふじぱん的には完全に残念な流行だと思うのですよ。

だって、私なら感想依頼な作品でもない限り、別の作品探します。ただたまに読者の目を引き付けるだけのインパクトあるキャラクター紹介を見ることはあります。

それはたまたま今回、感想依頼頂いた作者様にいたのですが、キャラクター紹介で見事読者（ふじぱんという読者）を釣ってます。ちなみにお気に入り作者登録迷わずしましたよ、はい。

まあ、さすがに無許可で作者名、作品名晒すわけいけないので書きませんが、もしふじぱんを釣ったキャラクター紹介を見なければ私の公開しているお気に入り作者様を探してみてください。

（現時点では二人しかいませんし）

人の作品を読むことでデメリットになることはありませんし、というか、書くのを行き詰まったらまずは人の作品を見るとかなり勉強になります。

私が未熟なだけかもしれませんが、純粹に読者の立場として客観的にこういう書き方はおもしろいな、萎えるな、とか思うんではないところは盗んで、悪いことはしない、ってやってたらおのずと書く力は上がると思います。

まあ、ここまで書いちゃったんでぶっちゃげますけど私が感想依頼受け付けたりするのもしれっと勉強するためだったりします。

で、思ったことを勉強させてもらったお礼に指摘させていただいたりしてるんですね。

今回のネタ、登場キャラクター紹介も評価依頼受けた作品のなかに、ふむうつ、もったいないなって作品があったから書いてるようなもんですし。

もし感想依頼じゃなく、ただなんとなく検索なんかで来てたら中身読まずに回れ右して違う作品にいつてるのもありましたしね。

さて、まとめましょう。

まず、キャラクター紹介書くな、とは言いません。

冒頭に書いても読まない人は読まないどころかそこで曲がれ右するひともいます。

書くならある程度話が進んだ閑話休題の箇所が理想ですかね。

そこなら、ふんふんと読めます。

ああ、こういう話だったね、このキャラクターと、読者も受け入れやすいのではないかと。

まあ、まだ書いてもないこれから出てくる設定を書いてるとおおいと思います。

もう書くタイミング失せちゃったよ、ここで書いちゃえ、ってやつならいいですけどね。

以上、今日も好き勝手語り散らして反論がこわいな、っと思いなから逃げ支度をしているふじばんでした。

叩くなら優しくお願いします。

### ふじばんの戯れ言 13 プロとアマ

この度、震災された方には心よりお悔やみ申し上げます。

私自身も、社用で現地に行かされ、それに伴う混乱の影響でしばらく更新出来ませんでした。

更新遅れまして申し訳ないです。

さて、更新遅れた言い訳はこのあたりにしておいて……。

ひさしぶりに戯れ言を切々と書いていきます。

本日のお題は、プロとアマについて。

私自身は小説のプロではないのでプロになるためのプロセスではないのでご容赦を。

さて、これを読んでくれている人にプロを志望している人がいるかどうか知りませんが、もしなりたいたいと思ってるかたには辛い言い方になります。

ですので、その辺はお覚悟を。

私は職種柄、何人かのプロのライターさんと交渉したりする機会があるんで、何度かお話をさせてもらったことがあるんですが、その経験則をちょこつとここに乗っけさせていただきます。

まあ、結論からいいますと、売れるライターにならないと儲かりません。

うちの会社がライターさんに払っている金額はこの場で公表した

ら情報漏洩の観点からとんでもないことになりますんで、書けませんか。

書きません、じゃなく、書けません。

重要なので二回言いました。

趣味で人生破滅とか洒落にならんのでその辺はご容赦を。

あくまでふじばんは、趣味でネット小説を書きつつ、無料な良作を読み漁る趣味な立場なので特定されて痛い想いはしたくないので細かい数字をだせないいで説得力にかけますが。

強いていうなら、あんな金額じゃ生活できないだろうから、なにが副業もってんだろうかな、ってとこまでで。

本とか出せば、印税とか、一部売れるにつきいくらのマージンがとかあるでしょうから、紙面にすればまた変わってくるかもしれないので、そっちはそっちの経験がある方がどこかで書いていると思います。

私は縁も知識もないのでこの辺は省略します。

結論、プロでも売れなきや儲かりません。

じゃあ、売れるライターになるためにどうすればいいですか、となるとお

もつのですが、ぶっちゃげますと1にネームバリュー、2にコネです。

実力や才能なんて二の次です。

コネに勝る武器はありません。

コネ！？　っと思われた方。

コネをバカにははいけないですよ？

どの業界でもコネは強力な武器です。

現に私の会社では委託するライターさんも公募で募るなんて不効

率なことは一切していない会社です。

稀に持ち込む人いますけど、はつきり言います。

読む暇ありません。

私も飯を食べる以上、飯を確実に食べるためにやらなきゃならん仕事もあるわけで、ライター発掘に割ける時間などたがが知れています。

会社の存続に関わる以上、自薦のみの見ず知らずの人の作品なんて危ない橋は渡れません。

結局、どこからライターを発掘してくるかとなると、会社が信用している人の紹介となるわけです。

余談ですがここだけの話、私も上司からライター発掘を命じられた事があり、一度だけなるうの作者様から見つけてみようって思ったことはあるんですが、すぐ挫折しました。

圧倒的に時間が無さすぎるためです。

私に与えられた時間は1週間。

通常業務をこなしつつ、発掘とかいくら通勤帰宅の計2時間、電車の中でなろうに出入りしている私でも発掘できる気さらさらありませんでしたし、仮に発掘できたとしても、どこに住んでる人かもわからない人相手に交渉とかどれだけ難色かってことと……。

あと、このサイト、めんどくさい規約あるんですよ。

交渉する前に運営に連絡。

運営が受領後、作者に連絡。

詐欺の可能性もありますのでご注意くださいの一文をいれるつと期日がある以上、間に運営が入られると確定で間に合いません。

結局、別ツテ使いました。

さて、脱線はここまでにしておいて。

コネの優位性は理解してもらえたでしょうか？

ここまで読んで、コネの無い私はどうすればいいんだ？ と思われる方。

落胆する前に動きましょう。

宣伝しまくりましょう。

ガンガン人に見せましょう。

前述で実力、才能は二の次と書きはしましたが、コネを得るためには必要なものです。

いつか出版社の人が目につけてくれるかも知れない、は奇跡の確率です。

前述の通り、私のように発掘に来る人もいますが、私の場合、20作も見れませんでしたし。

さて、今日はここまで。

今回はやばそうな空気が流れたら削除しますのであしからず。



### ふじばんの戯れ言13 プロとアマ（後書き）

ちなみに、今、私は発掘する役職にいませんので、自薦とかされても何もできませんのでその辺はご理解を。

#### 修正歴

2011年5月5日 誤字3件ほど修正

## ふじばんの戯れ言14 批判

昨日のPV、ユニークがいきなりはねあがり、何事だ？

まさか、どこかに晒されたのか？ と、GoogleやYahooで検索をしたふじばんで御座います。

冷静に考えたら、私が応援している方のユーザーページで作品名だしてましたね。それが原因か……。

しかも職種までカミングアウトしてましたね。

もうばれたなら仕方がない。私はゲームを製作している会社に勤める一介のIT土方です。

そもそも小説の書き出し事態、自分の思う通りに作品を作りたかった。

それからこのサイトで書くようになりました。

どこの会社の誰だというのは勘弁してください。

普通にWikiとかで本名晒されていますし、さくつと特定されてしまいますので。

今現在、在職中ですし、なによりこの独断と偏見で黒に近いグレーゾーンなこと書いてますので。

会社にはれたらクビ飛ぶくらいじゃすまなくなるので、特定は勘弁を。

億単位の賠償金とか払いたくありません。

前置きはこの辺に置いておいて、さっそく本題に参ります。

本日のお題は、読者数が増えるに当たってに関して。

ネットは私たちのような一般人見地からはどうしても匿名色が強いのです。

私自身、匿名だからこそネットで小説を書いているようなもので

す。

私の会社の同僚や、友人、恋人、家族すら私がネットで小説を書き散らしていることは知らないはずです。……たぶん。

こんな独断と偏見で携帯小説をうんぬんかんぬん書いてる身でこんなこと書くのもどうかと思いますが、私程度の文才では身内にネット小説書いてるんだ、見てくれよと言えるだけの技量と自信を持ち合わせていませんので公表していません。いえ、言えません。

脱線はさておき、書いてる作品に読者がつくというのは書き手として嬉しいことです。

それが100人、200人ともなれば狂喜乱舞ものです。

ただ、前述した通り、ネットはどうしても匿名色が強いです。

その匿名色を盾にしてやりたい放題、言いたい放題散らかしていく人も出没してきます。

総称して荒らしとか呼ばれている人たちです。

やってる本人に自覚はないんでしょうが、それで作者のやる気を叩き折り、作品自体を削除してしまった作者様もいます。

私もこのサイトに登録して早3年。

更新を楽しみにしていた作品が荒らしによって削除になったりして、荒らしによく憤慨したものです。

ただ私自身、評価依頼とか稀に請け負っておりますので同じ穴のムジナかもしれないが……。

私は一応辛口評価していいんですね？と確認とって辛口していますが、やってることはやっぱり作者様の書く気を奪っているのですよ。

私がコメントを入れた作品が後日気づいたら削除されているというところもありあります。

そついった経緯もあり、最近は評価依頼受け付けていないのですが。

と、また脱線。

幸いにも私ふじばんの駄作には、いまだ書く気が削がれるようなコメントが書かれたことありませんので、（こんな場末を荒らしても意味ないからでしょうが）体験談を書くことは出来ません。

私なら来たら喜ぶ可能性高いです。

なぜなら、批判的意見が来るということはそれだけ注目度が高いという証明ですから。

批判を吹っ掛けてくる以上、読んでくれるって事ですし、意図はどうであれ、真剣に向き合ってくれてる、と私なら思います。

ただこのサイト、完全に購読無料なんですよね。

サイト運営している方は広告収入とか利益を得ていますが、基本的にこのサイトの顔である小説を書いている作者様には一銭の還元もありません。

汚い話ですが、書く原動力は金ではありませんので、作者様によつては批判は鋭い刃物となり、書く原動力、書きたい気持ちを破壊してしまう恐れもあります。

私のように批判されて当然なレベルと自分で自分の作品を解釈している作者様は批判こそ糧ですが、自作に自信のある方には核兵器にもなりかねません。

かつて、巨人軍の王選手と長嶋選手の育て方は異なっていたそうです。

長嶋にはとことん誉める、王には叩き潰すかのように叱ると。

結果、王選手は記録に残り、長嶋選手は記憶に残るプレイヤーになったのは周知の事実です。

人間、確かに褒められて延びる人と、叱られて延びる人がいます。それはあくまで面識ある間柄だからこそ線引き出来ますが、ネット上では本当に赤の他人です。

線引きなんか自己申告に頼るしかありません。

さて、結局私が何を言いたいかというと、批判する側にはその作品を殺すことがある、ということと、批判される側には批判してくれる人こそその作品をしっかりと読んでくれていると言っことです。

まあ、読まずに批判とかするやつはいますがそれはただの荒らしです。

そういったやつは検討違いなこと書いてますので、それは純粹にスルーでいいかと。

なんか偉そうな事書きなぐってしまいましたな。

まあ、あくまでふじぱんの主張です。

ちなみに私は批判ウエルカム派です。

でなきやこんなもん書きません。

人並みに凹むとは思いますが、作品削除はある条件を除きしません。

条件？

私が特定されかけることです。

それは純粹に特定されかけているから逃げただけと後解釈頂ければ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4599d/>

---

ふじぱんが独断と偏見で語る携帯小説の書き方

2011年6月25日18時54分発行